



なみ き

埼玉県議会議員

並木 まさとし

無所属
県民会議
SAITAMA



発行者
連絡先

埼玉県議会議員 並木正年
〒365-0038 鴻巣市本町 3-2-19-B
TEL 541-7777 / FAX 543-8000

日頃の活動は
ホームページで!

並木まさとし

検索

namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp



10月21日～11月11日まで令和2年度決算を審査する決算特別委員会が開催されました。

令和2年度の新型コロナウイルス感染症対策推進基金の状況

積立額 156.8億円

(地域整備事業会計からの借入金100億円+国庫支出金52億円+寄付金4.7億円+運用利子0.1億円)

充当額 24.6億円

- *新型コロナウイルス感染症対策事業(保健医療部) 1,565,348千円
- *埼玉県地域医療介護総合確保基金積立金(福祉部) 657,494千円
- *新型コロナウイルス感染症治療にあたる医療従事者支援事業(保健医療部)136,170千円
- *ICUによる重症患者医療体制整備事業(保健医療部)38,586千円
- *心身障害児通園訓練費(福祉部)33,153千円
- *その他 29,838千円

令和2年度末 残高 132.2億円

事務事業の見直しにより廃止した4事業の予算額、内容、廃止の理由

廃止事業 4件

(単位:千円)

部局名	事業名	事業概要	廃止とした理由	令和2年度 予算額	令和3年度 予算額
1 県民生活部	2020年東京五輪文化プログラム育成プロジェクト	高齢者により構成される「ゴールド・アーツ・クラブ」の演劇公演、国内外の高齢者グループによる演劇及びダンス公演等を開催	新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、高齢者が多数参加する舞台公演の実施は、感染拡大や重症化の恐れがあることや、海外・国内からの招へいが困難であることから同公演を中止としたため	99,700	0
2 県民生活部	埼玉のまつり広報費	県内の多彩な「まつり」を通して本県の魅力を発信するため、ターゲットを見据えた情報発信を展開し、「埼玉県の魅力アップ」、「県民の郷土愛醸成」、「地域の活性化」、「観光客の増加」等を図る	新型コロナウイルス感染症の影響により、翌年度以降の祭りの実施が困難であることが見込まれることから、祭りに特化した魅力発信事業(広報・啓発)を廃止としたもの	21,470	0
3 都市整備部	住宅密集地改善推進費	市町村が取り組む住宅密集地の特定や改善計画の素案づくりについて、専門家を派遣し技術的支援を実施する	市町村の住宅密集地改善に向けた取組に対し、県がこれまで蓄積した経験やノウハウを活かし、直営で支援を行えるため、廃止としたもの	8,000	0
4 保健医療部	がん登録データ活用事業費	医師会や市町村のがん検診事業担当者に対し説明会や研修会を実施し、がん登録データの利活用について周知し、推進を図る	がん登録の届出が一般的になったこと、データ利活用の推進が広く普及されたことから事業目的を達成したと判断し廃止としたもの	307	0

(単位：人)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
病気休暇	男性	70	64	61
	女性	36	48	61
	合計	106【72】	112【82】	122【96】
育児休業	男性	27	37	77
	女性	171	145	176
	合計	198	182	253
出産休暇	男性	—	—	—
	女性	171	145	176
	合計	171	145	176
介護休暇	男性	6	1	3
	女性	7	8	6
	合計	13	9	9

病気休暇の【】は合計のうち精神疾患の数値

人少ない1万2,878人、知事部局でも約1,600人少ない6,776人と、いずれも少ない人員で県政運営を行っています。

病気休暇(精神疾患)が年度ごとに増えている現状を考えると、有給休暇をきちんと取得できる職場づくりをはじめ、早急に職員の増員を図るべきだと考えます。

企業の働き方改革が進む中で残業時間の縮減、週休2日制、コロナ禍でのテレワークやワーケーションなど多様な働き方が増えています。

令和2年度は新型コロナの影響で保健所を含む保健医療部では感染拡大による業務量の多さから200時間/月の残業時間があつた職員がいるなど、年間における職員の最大時間外手当の支給額は814万円、時間数1,989でした。

本県は県民1万人当たりに対する一般行政部門職員数は、全国平均の23.3人を大きく下回る全国最少の11.3人となっており、同規模の人口755万人の愛知県と平成31年度における職員数を比較すると、教育部門は約2,600人少ない3万7,012人、警察部門は約1,600

冬季品評会



本県は日照時間が長く自然災害が少ない恵まれた自然条件を背景に花植木の生産が盛んにおこなわれています。1世帯あたりの切花の購入額は平成9年をピークに減少に転じており、鉢花や花壇苗を含む園芸品・園芸用品の購入額も平成11年をピークに減少に転じています。この要因として景気の低迷、若い世代が花を楽しむ生活から離れていること等が考えられます。また、植木類においてはマンションなどの住宅事情、生活の多様化などによって需要は減少し、新型コロナウイルスによる冠婚葬祭等のイベントの中止や店の営業自粛により、花き需要は大きく低迷しています。決算特別委員会の審査では①イベントでの花装飾を拡大すること②花育など、若年層に花と触れ合う機会に取り組むこと、を改善または検討を要する事項で取り上げました。

【総務部】

私が求めた決算特別委員会での改善また検討を要する事項

*「誰一人取り残さない」「日本一暮らしやすい埼玉県の実現」のためには、職員自らが健康で働きやすい環境を整える必要があることから、休暇取得促進の取組などを更に推進すること。

【保健医療部】

*埼玉県コバトン健康マイレージ事業では、登録参加者数を増やすことだけにとらわれず、参加者の満足度向上にも取り組むこと。

【農林部】

- *花き振興のため、イベントでの花装飾、県民が花に触れ合う機会及び花育を推進すること。
- *ふるさと認証食品について、消費者の目にとどまるよう工夫するとともに、サービスエリアや道の駅など販路拡大に努めること。

【環境部】

- *駐車場を含めた県有施設改修時の緑化を図るため、管財課や都市整備部などと情報共有を図ること。
- *天然記念物及び特別天然記念物である希少な動植物の種の保存、保護及び増殖に取り組む市町村に対して財政支援を行うこと。

【危機管理防災部】

*地震や風水害だけでなく、列車事故などの交通トラブルについても図上訓練シナリオ作成を進めること。

【産業労働部】

*埼玉県物産観光館「そびあ」については、なるべく早急に移転を図ること。



昭和45年鴻巣市本町生まれ/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防第2分団員(24年目)/鴻巣市議会議員2期/埼玉県議会議員2期目/会派無所属県民会議/総務県民生活委員/経済・雇用対策特別委員/決算特別委員/家族:妻・長女・長男・愛犬レオ